

# 地域衛星通信ネットワーク について

平成17年1月13日

財団法人 自治体衛星通信機構

# 自治体衛星通信機構

- ・地域衛星通信ネットワークを運用する公益法人
- ・平成2年2月に設立

地域衛星通信ネットワークは、衛星通信の特徴を生かして  
防災行政無線の拡充・強化  
行政情報伝達の効率化  
地域からの情報発信の充実  
の為に全国の地方公共団体を結ぶ自営通信網

## ・事務所

本部(東京都港区)

山口管制局(山口県山口市)

美唄管制局(北海道美唄市)

東京局 (東京都千代田区)

# 地域衛星通信ネットワークの整備状況

## 加入状況

現在43都道府県がネットワーク運用

## 地球局の状況 (平成16年 9月30日 現在)

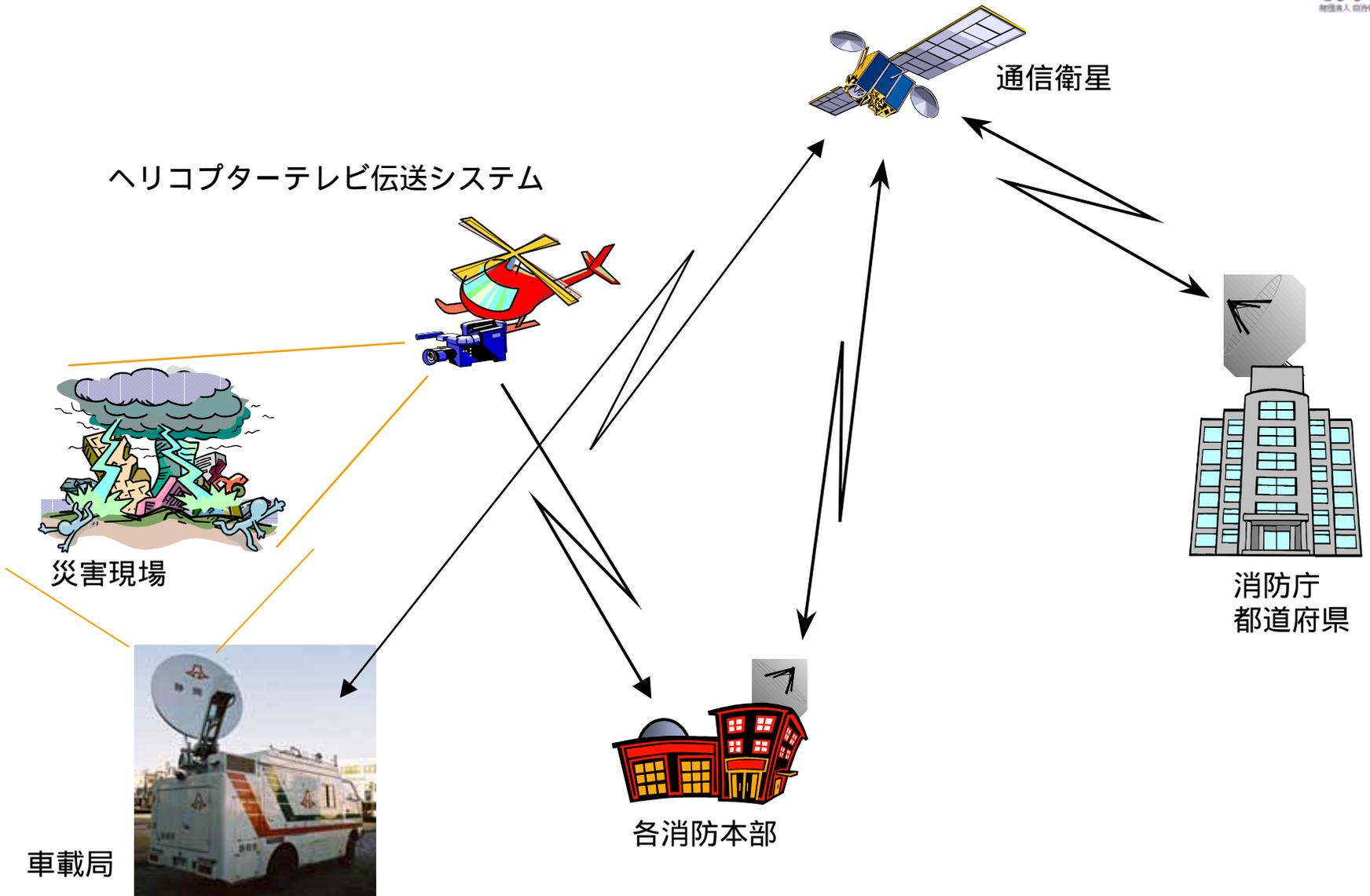
県庁局43局、支部局846局、市町村局2,811局、  
消防局562局、車載局20局、その他398局

合計4,680局

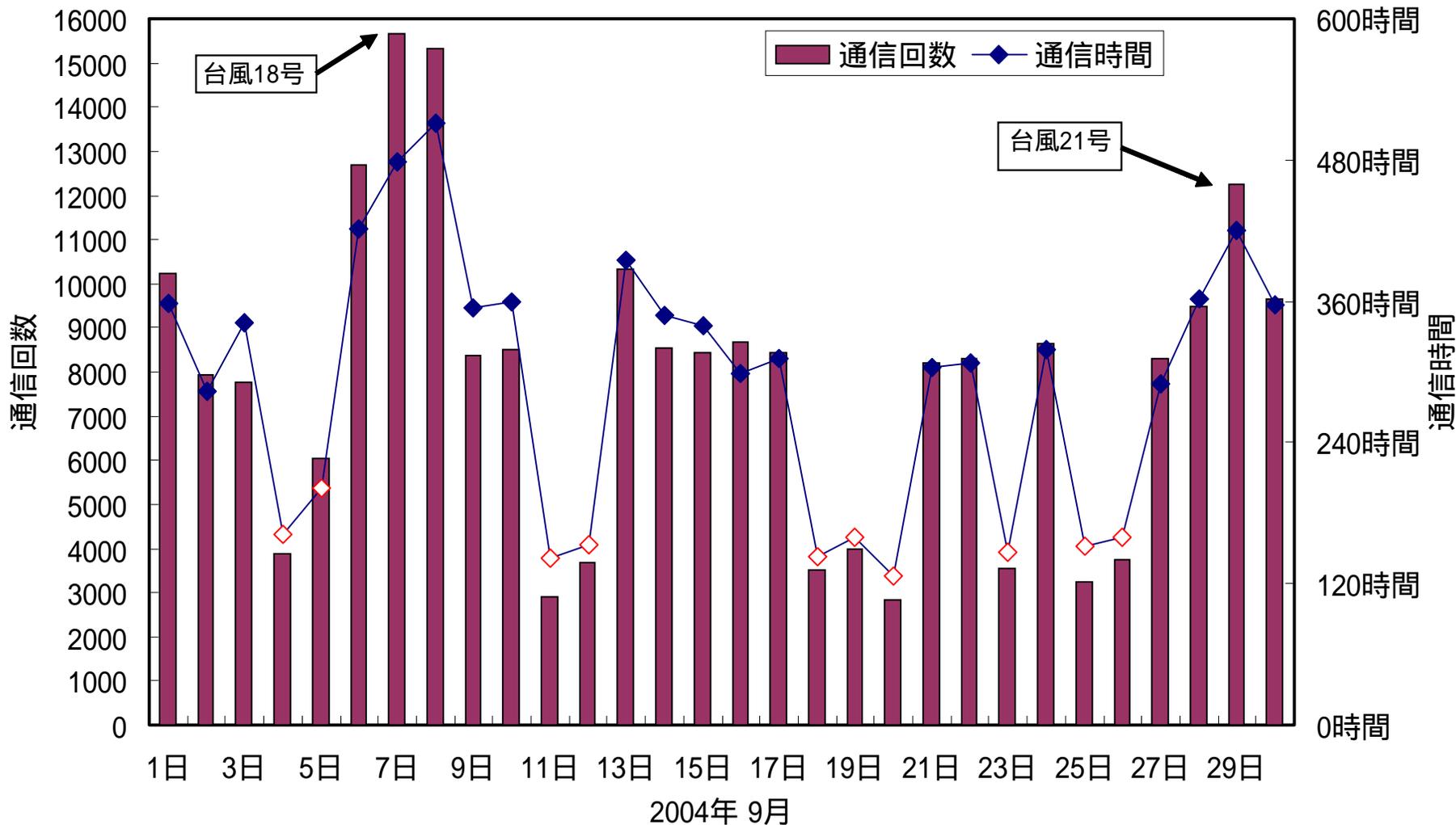
国、Lascom等 69局

総計4,749局

# 地域衛星通信ネットワークの活用例(防災)



- 集中豪雨、台風災害時のネットワークの状況
- 新潟県中越地震におけるネットワークの状況
- 非常用発電機の設置状況について

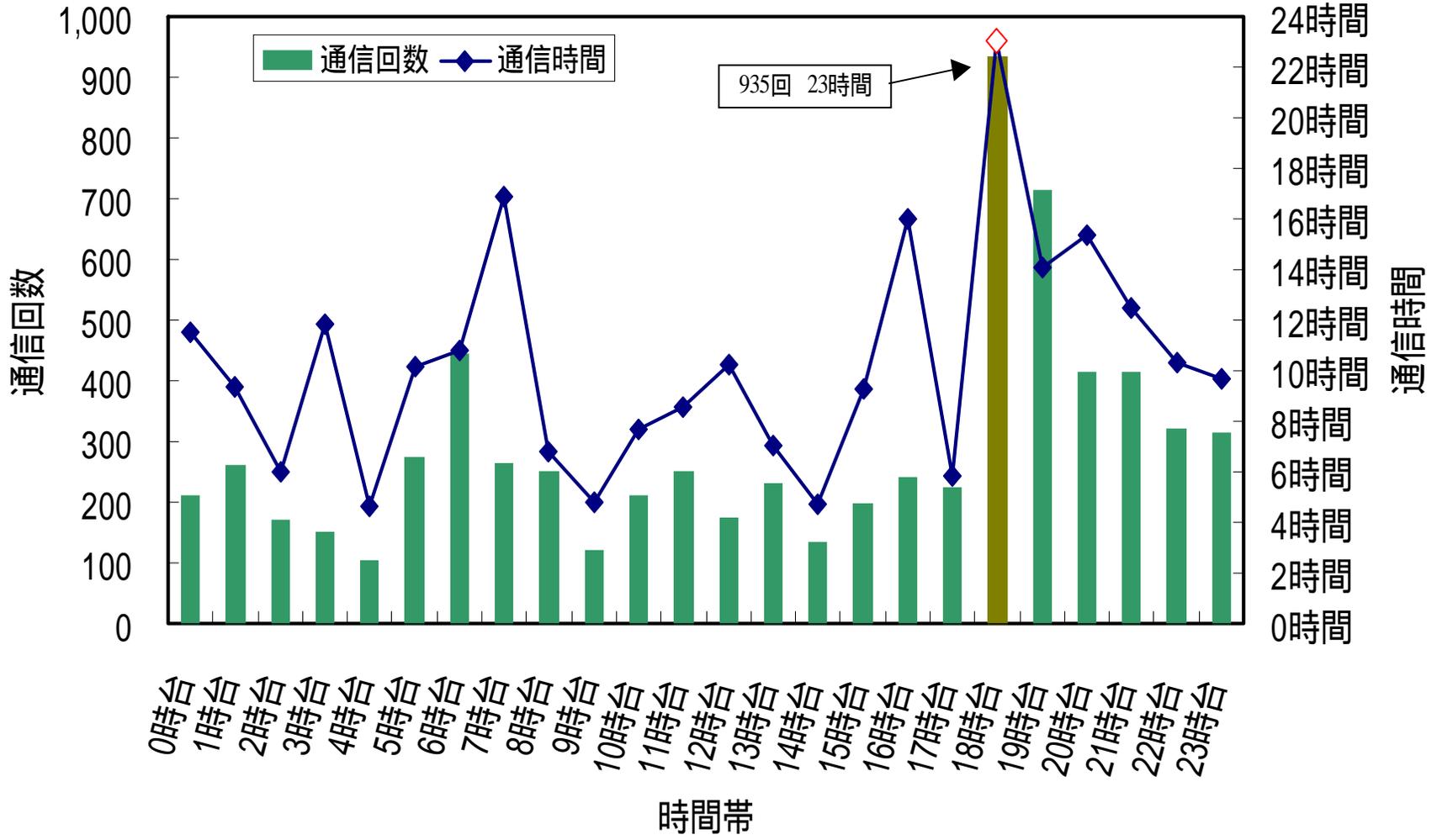


トラフィックの日変化(個別通信 全局)

## 台風18号による通信障害の状況

	障害の継続時間					合計
	1時間以内	6時間以内	12時間以内	1日以内	1日以上	
障害発生局数	4	8	7	9	26	54

# 新潟県中越地震 震災時のネットワーク状況



2004年10月23日のトラフィックの時間変化(個別通信 全県)

## 新潟県中越地震による通信障害の状況（本震直後）

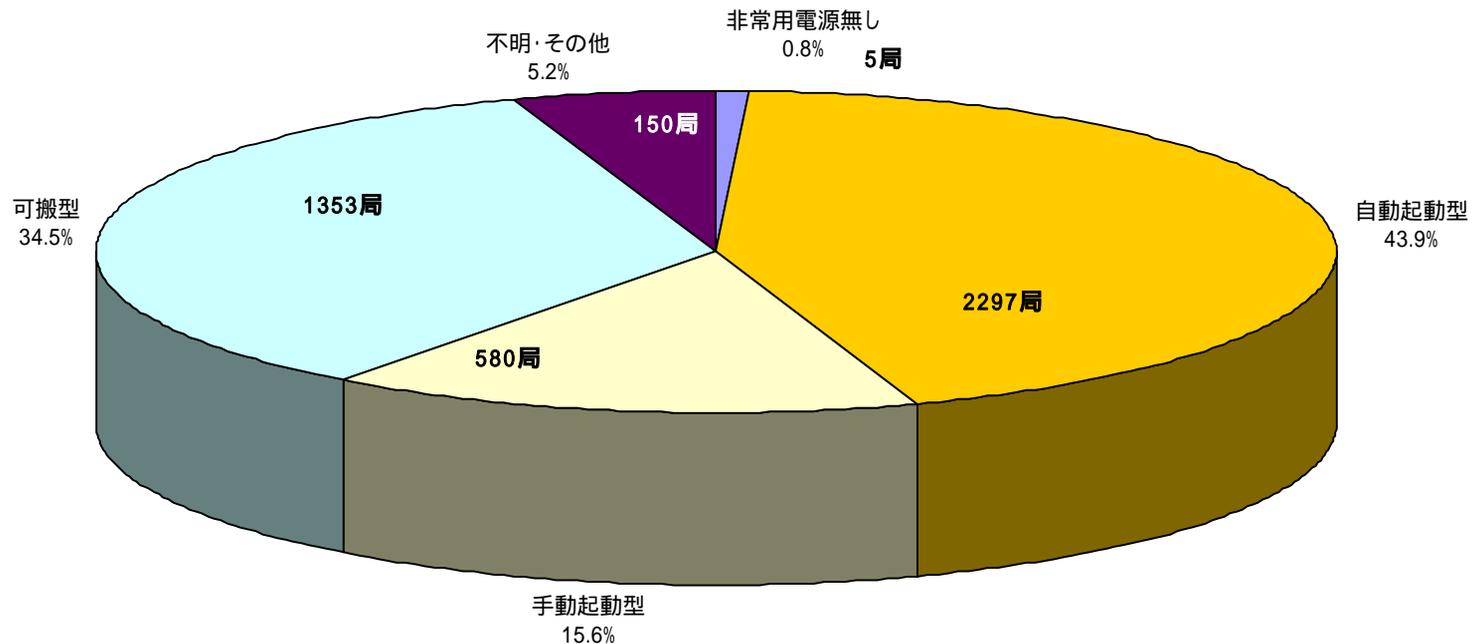
	障害の継続時間					合計
	1時間以内	6時間以内	12時間以内	1日以内	1日以上	
障害発生局数	2	1	8	6	5	22

## 新潟県中越地震による通信障害の状況（余震後）

	障害の継続時間					合計
	1時間以内	6時間以内	12時間以内	1日以内	1日以上	
障害発生局数	6	2	0	2	2	12

# 非常用発電機の設置状況調査

- 地域衛星通信ネットワークの各地球局における非常用電源装置の設置状況について調査した。
- 殆どの地球局で何らかの形で非常用電源が整備されている。



地域衛星通信ネットワークにおける非常用電源の整備状況  
調査地球局 = 46都道府県 4,325局

# 災害時の運用

---

- 地震や台風災害の際にネットワークが正常に動作することが重要である。地球局の直接の被害は稀であるが、発電機やアンテナ等の日常点検が重要。
- 地域衛星通信ネットワークでは、緊急時には当該県の通信を優先的に扱う等の運用を行っている。このような運用により、これまで災害時に通信チャンネルを使い切るといった事態に陥ったことはない。

# まとめ

**地域衛星通信ネットワークとその運用状況を紹介した**

**地域衛星通信ネットワークは、地上系のインフラと共に、衛星通信の特性を生かして防災情報や行政情報通信に利用されている**

**災害情報や防災情報の迅速な伝達及び共有が求められており、地方公共団体における情報ネットワーク化の進展に伴い、データ及び映像情報の利用が進むと考えられる**